

一里塚 無所属 田村栄子

久喜市議会議員

久喜市議会
会派フェニックス

連絡所〒349-1117 久喜市南栗橋 5-11-7 TEL 0480-52-8240 FAX 0480-55-1124

<https://ameblo.jp/tamura-eiko-kuki/> <http://tamura-ek2.matrix.jp/>

田村栄子
 久喜市議会議員
 総務財政市民常任委員会・
 予算決算常任委員会・広報
 委員会の各副委員長、ICT
 委員、静桜里親の会会長
 久喜市栗橋婦人会会長
 久喜市放課後子ども教室
 (栗橋南小) 実施委員
 大阪府豊中市出身 武庫川
 女子大学卒業 同大学助手
 大妻女子大学講師歴任
 南カリフォルニア大学研修

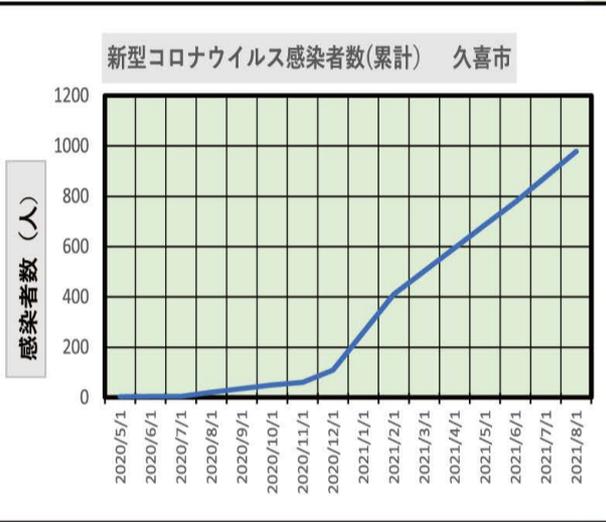


皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、定例議会には全議員がマスク着用で臨み、無事感染者が出ずにすみました。他方、ウイルスが変異し感染力の強いデルタ型が現れ猛威を振るい出しました。一層の注意が必要となります。ワクチンが早く希望者全員に行き渡るよう願います。

東京オリンピックで日本の選手が活躍したのは嬉しいことです。選手が一生懸命に競技している姿は大いに励みになりました。事態困難なか大会現場を支えた方々には頭が下がります。他方、結果さえよければよいではなく、以下のことを忘れてはならないと思います：

- * コロナ禍でオリンピックを「開催する/しない」がどのように議論されたのか明確でなく、開催決定の宣言は一度もなく、いつの間にか開催を前提とした「観客の有無」の話に問題がすり替えてられていた。
- * オリンピックと国民の感染症対策の両立のシナリオが無かった。
- * 観客の有無の決定にも時間がかかった。オリンピック開催現場の諸活動や関連企業活動に大きく影響を及ぼすはずなので早い判断が必要ではなかったか。
- * 決断と根拠は今後明確に。

下図は久喜市の感染者数の推移です。今年になって急激拡大し緊急事態宣言中も増えています。



確実な感染抑制対策を早く！！

新型コロナウイルス感染症が爆発的な勢いで拡大しています。ウイルスが変異し感染力が強いデルタ株に変わった影響でしょうか。はやく感染抑制の新たな対策を打ち出し、計画的に実行すべきではないでしょうか。そのためには感染拡大の実態を直視し、原因を医学だけではなく幅広い視点から科学的に分析して明らかにすることが必要ではないでしょうか。

そして専門家だけではなく分かり易く国民にも知らせ、情報を共有することが必要ではないでしょうか。そうすることによって、国民の感染対策協力も得られるものと思います。単純に「人の流れを止める」だとか「飲食飲酒自粛」では、全く進歩がありませんし、もはや国民の理解は得られません。

また飲食店だけを攻めるのはいかがなものか。飲食に関連する物流や製造業、農業も密接に関連しているはず。対策は体系的に行うべきです。

ワクチン接種は、若い人達にも早い接種の普及を願います。

自宅療養者のためにパルスオキシメータの導入と貸与制度創設が必要。田村栄子は先の議会で提案して参りました。

公共施設に空気清浄機が設置されました -感染症対策-

新型コロナ感染症抑制対策の一環として久喜市内の公共施設に本年7月に空気清浄機が設置されました。施設の部屋の空気がよくなります。設置台数は総数159台で23、45、65畳用の3機種で、市内施設43カ所に設置されました。設置施設は久喜市内、栗橋コミュニティセンター、栗橋公民館、鷲宮公民館、鷲宮東&西コミュニティセンター、青葉公民館、本町集会所、中央公民館、東公民館、栗原記念会館、地域交流センター、総合支所、保険センターその他です。市内各小中学校にも合計33台が設置されました。ウイルスが付着した飛沫粒子を除去する仕様です。

田村栄子は、施設利用の安全のため窓の無い部屋の換気窓の設置・除菌装置の設置を久喜市議会で提案してきました。公共施設の安全のため実現に至ったことをご報告します。



久喜市シルバー人材センターが移転します
 現在：鷲宮総合支所内
 移転先：栗橋総合支所
 移転日：令和3年9月6日

久喜市立栗橋西小学校「第11回日本ESD大賞」受賞

栗橋西小学校は平成30年度に「カリキュラム・マネジメントによる学校教育活動の改善に関する研究」を研究主題に挙げました。本研究において、SDGsの実現を目指し子ども達が「困難な課題に立ち向かい、様々な人々と力を合わせて解決し、より良い未来を創ろうと考え行動する力」を身に付けることを目的に取り組んできました。授業に日常の問題点をとり挙げ、国語、算数と切り離さず、関連させて学ぶことを実践し成果をあげました。これが評価され令和2年度の本賞を受賞しました。

小学校部門で1校のみに与えられる賞です。
 ESD: 持続可能な社会の担い手を育む教育
 SDGs(エスディージーズ): 持続可能な開発目標
 2015年に国連のサミットで2030年までの国際社会共通の目標と長期開発指針が示された。その中心部分がSDGs。人々の暮らしや平和と地球環境を守るなど17の目標と連携する169のターゲットからなる。



本賞の主催者：NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム
 後援：文部科学省 ユネスコ

感染症対策で引き続き注意を
 行政によるPCR検査の普及、パルスオキシメータの市民への貸与の早い実現を願う。

ワクチン問い合わせ先：久喜市コロナワクチンコールセンター
 電話0480-22-5670 FAX 0480-53-6237 月～金曜日(9-17時祝日を除く)
 埼玉県新型コロナウイルス専門相談窓口 電話0570-033-226
 副反応に関する相談
 厚生労働省 新型コロナウイルスコールセンター電話0120-761770(9-21時)

暮らしと政治を結びます！



ご意見を賜ります。皆様からの貴重な叱責・ご意見を頂き誠にありがとうございます。

感染から身を守るには

人ごみを避け、人との接触を極力避けましょう。
 マスクをしていても1.5m以内での会話は控えましょう。部屋の換気を良くしましょう。
 マスク着用 手指の消毒励行
 咳・くしゃみのエチケットを守りましょう。

田村栄子の議会質問

一部抜粋 構成

議会では、毎回皆様の声を代弁して質問しています。市民の元気につながる質問をしていきたいと考えます。「こんなこと聞いて欲しい」という方はお知らせ下さい。



令和3年6月議会は6月3日～6月30日に行われました。田村栄子の一般質問(6月10日)と市回答の内容です。

済生会栗橋病院の移転後は

問 済生会栗橋病院は令和4年3月を目安に建物完成し、その後加須市への移転に1,2ヵ月を要すると昨年の議会で回答があったが、その後の本件に関する情報および秋谷病院開設に関する情報を伺う。また市民にとってより良い病院を願うことから秋谷病院への市からの支援が必要。市の考えを伺う。

答 これまでに示しているとおり令和4年6月に済生会栗橋病院が移転後、秋谷病院が速やかに新たな医療を提供する予定と伺っている。また本市からの秋谷病院への支援については、病院内における具体的な病床機能の配置や、施設整備計画等を提案していただいた上で適切に判断する予定である。

ワクチン接種の問題点は

問 新型コロナウイルス感染症対策としてのワクチン接種については、国の政策が頻繁に変わり、現場の対応が大変であることは承知している。そのようななかで1) 予約が取り難い問題の対策はどうか。2) キャンセル等で余剰が生じた場合の対策はどうしているか。

答 1) 電話対応は自動音声案内により改善し、Web予約はワクチン接種の相談窓口を開設して職員が予約の支援を行うことで改善した。

2) 余剰が生じた場合は、医療従事者や申し込みのあった方に接種を行うなどして、ワクチンを廃棄することのないようにする。ワクチンはファイザー社製である。変更の場合はホームページ等で知らせる。

複合災害に対する防災対策は

問 自分の命は自分で守ることを前提に、避難の在り方を洪水避難決断ブック配布で一步前進した。1) この本で実践的に避難方法を住民に浸透させることが行政の仕事ではないか。

避難所収容人数に限度があり、広域避難が重要である。

2) そのためには住民に早急な情報伝達が必要である。防災無線では伝わりにくいので、防災ラジオを希望者に貸出すことを提案する。加須市では既に実施している。

答 1) 自主的に各自広域避難をしてほしい。

避難情報は防災行政無線、メール配信サービス、各種SNS、電話による音声応答サービス、緊急情報架電システムなどを用意している。

2) 防災ラジオは市の防災行政無線に対応していないので、考えていない。意見) 是非実施すべき。



防災ラジオ

市民の健康をまもるべき 一公園に健康器具の設置を

問 本市は健幸・スポーツ都市宣言を行っている。身近に市民が運動できる器具が必要。市内各公園に子供の遊具はあるが、大人の健康器具が少ない。住民から要望のある公園(例えば魚越公園、蓮沼公園等)にも設置して欲しい。いかがか。

答 都市公園における遊具の安全確保の指針に基づき、子供向け遊具との混在を避けるだけのスペースのある公園等には、健康器具を設置してきた。今後、新規に公園を整備するときや公園改修及び遊具の更新をする際には、地域の人達の意見を聞き検討していきたい。

新型コロナウイルス感染症の拡大抑制対策は

問 新型コロナウイルス感染者数は全国的に確実に増加の傾向にあり、今後も増加すると見られる。久喜市内の感染者数は同様の増加傾向にある。どうすれば今後のさらなる感染拡大を防げると考えているか。

答 感染拡大を抑えるには人と人の接触の機会をできるだけ減らすとともに、マスクの着用や手指消毒の励行など、一人一人が基本的な感染防止策に取り組むことが重要と考える。またワクチン接種による抗体の獲得は発症予防効果を高め感染拡大の防止に寄与すると考える。

問 感染の原因ともなっている無症状の陽性者のスクリーニングを急ぐ必要があるのではないか。PCR検査の拡充が必要と医療の専門家が何度も言っている。東京都の世田谷方式では高齢者施設でPCR検査の結果、無症状の感染者が78人、そのうち28人が感染力の強いスーパースプレッダーであった。この28人を隔離しクラスターの発生が未然に防がれた事例である。昨年何回も提案しており本市もPCR検査を自治体で行うべきであるがいかがか。

答 PCRの行政検査を行う予定はない。

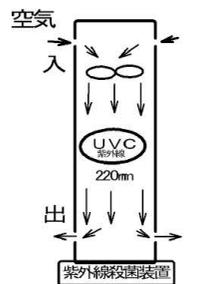
意見 PCR検査は自治体主導で行えるもの。是非積極的に行うべきと思う。

公共施設の新型コロナウイルス感染症対策は

問 新型コロナウイルス感染症の変異株が増加中で、市民活動での感染を予防するため「換気」と部屋の空気の殺菌を徹底的に行うことが必要。換気窓がない施設は利用人数制限が厳しく市民活動にとってマイナスであり早急に換気窓を設置すべき。また安全確保のためウイルス除菌装置を設置すべきである。特定波長の紫外線を使った殺菌力の強い装置もあり、前向きに検討を求める。

答 公共施設の空調対策として空気清浄機を既に発注済みである。

表面参照 本年7月に空気清浄機が市内公共施設に導入設置された。



紫外線殺菌装置 例

災害時帰宅困難者への次の備えは

問 東日本大震災から10年経つ。当時の体験を風化させてはならない。震災当日多くの帰宅困難者が東武南栗橋駅で下車し、栗橋南小学校に避難したときのこと。市の職員は対応に追われ当夜と翌朝の食事を自分の家族までもが協力し間に合わせたということがあった。同様の事例はJR栗橋駅や東鷲宮駅でもあり無理を強いたと思う。今後備え市はどのような対応をしようとしているか伺う。

答 帰宅困難者が出た場合、埼玉県および鉄道事業者からの情報により受け入れ可能な避難所を開設し対応できるようにする。

意見 災害時には市職員までもが被災者になる可能性もあるので過去の経験を活かし多くのケースを想定して具体的な対応・準備をすることが必要ではないか。

暮らしと政治を結びます!